



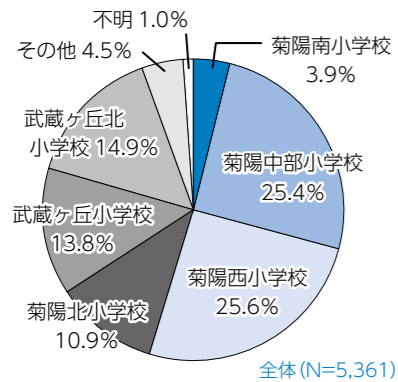
菊陽町復興まちづくり計画策定のための住民アンケート結果

総合政策課 地域振興係 ☎(232) 2112

町では、熊本地震での教訓を生かし、次の災害に備え、安全で安心なまちづくりを進めるために、地震のときの行動や今後の防災対策、地域での取り組みについて皆さまの意見を伺いました。校区別の調査結果など、詳しくは町ホームページや各町民センターをご覧ください。

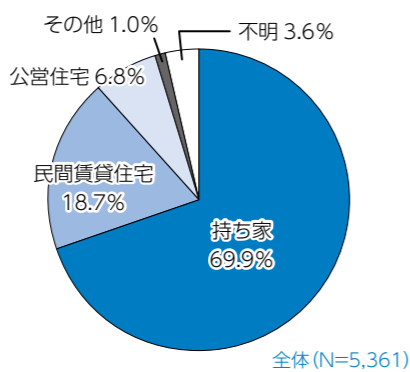
- 対象者 全世帯
- 調査対象期間 平成29年6月30日(金)～7月21日(金)
- 配布総数 16,454通
- 回収総数 5,361通
- 回収率 約33%

■地震発生時にあなたが住んでいた小学校区に○をつけてください。



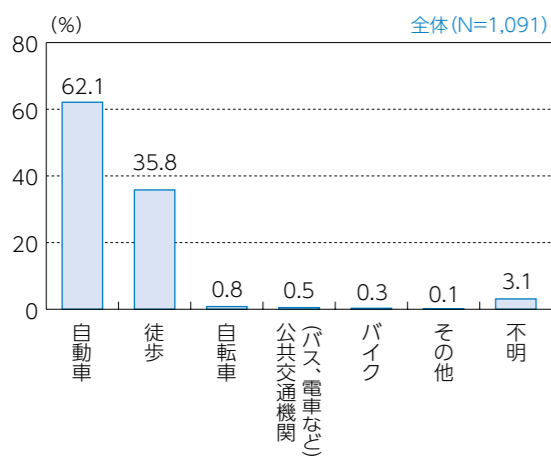
*小学校区別では、「菊陽西小学校区」25.6%、「菊陽中部小学校区」25.4%であり、「武蔵ヶ丘北小学校区」が14.9%と続く。「菊陽南小学校区」は3.9%にとどまっている。

■地震発生時のお住まいは、次のどれでしたか。



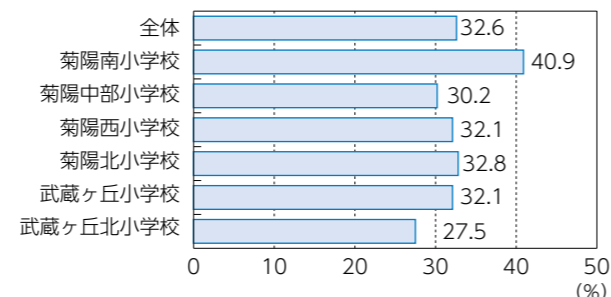
*「持ち家」が69.9%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅」18.7%となっている。

■あなたはどのような方法で避難所に向かいましたか。



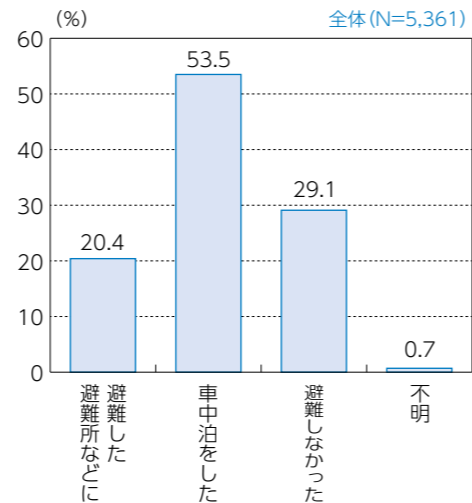
*「自動車」が62.1%と最も多く、次いで「徒歩」が35.8%となっている。「自転車」「公共交通機関」「バイク」は1%以下である(複数回答あり)。

■アンケートの回収率



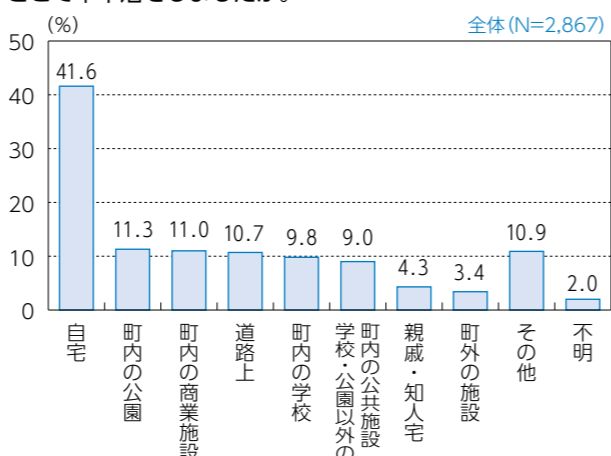
*アンケートの回収率は「菊陽南小学校区」が40.9%と最も多く、「武蔵ヶ丘北小学校区」では27.5%にとどまっている。

■地震(前震)以降、ご家族の避難状況はどうでしたか(ご家族の行動が異なる場合は、代表的な行動を記入してください)。



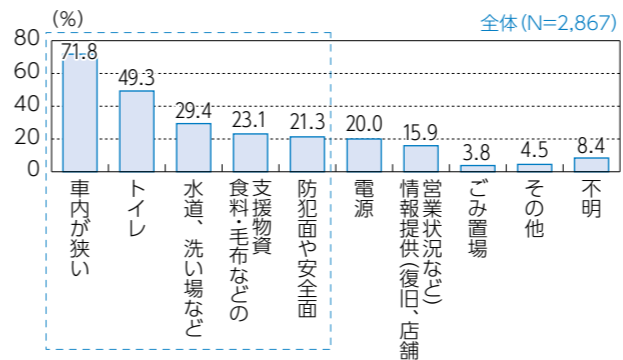
*「車中泊をした」が53.5%と最も多く、次いで「避難しなかった」29.1%、「避難所などに避難した」20.4%と続く(複数回答あり)。

■車中泊をした方におたずねします。どこで車中泊をしましたか。



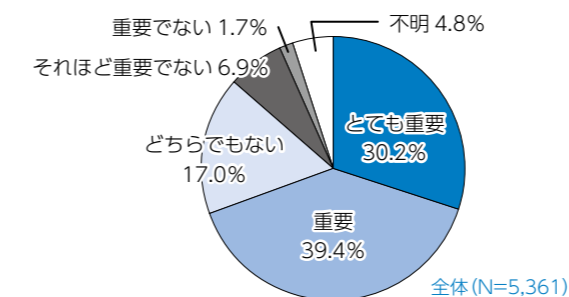
*車中泊をされた方で「自宅」が41.6%と最も多く、次いで「町内の公園」11.3%、「町内の商業施設」11.0%、「道路上」10.7%と続く(複数回答あり)。

■車中泊の状況はどうか。(※車中泊で特に困ったこと)



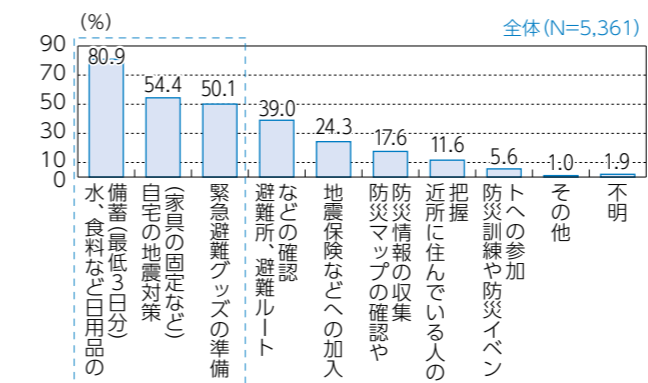
*「車内が狭い」が71.8%と最も多く、次いで「トイレ」49.3%、「水道、洗い場など」29.4%、「食料・毛布などの支援物資」23.1%、「防犯面や安全面」21.3%と続く(複数回答あり)。

■大規模災害時には、熊本空港は重要な役割を果たします。熊本空港へのアクセスや災害時に利用する道路について、次の項目のいずれかを選んで○をつけてください。(※町から空港へのアクセスの改善の重要性)



*「とても重要」+「重要」が69.6%と約7割の住民が必要と感じている。

■災害に対する普段からの備え(自助)として重要だと思うものを3つまで選んで○をつけてください。



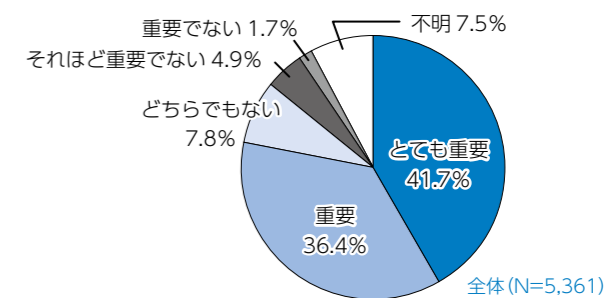
*「水、食料など日用品の備蓄」が80.9%と特に多く、「自宅の地震対策」54.4%、「緊急避難グッズの準備」50.1%と続く(複数回答あり)。

■熊本地震の際に困ったことや、今後、町が進める「災害に強いまちづくり」に関して、特に取り組んでほしいことなど、ご自由にお書きください。

復興まちづくり計画に資するものとして分類	内容件数(※重複あり)	復興まちづくり計画に資するものとして分類	内容件数(※重複あり)
①避難所機能等に関すること	305	⑦要配慮者等に関すること	146
②車中泊等に関すること	83	⑧災害時の情報・広報等に関すること	392
③防災公園・広場等に関すること	80	⑨役場・消防職員を中心とした防災体制等に関すること	152
④道路等に関すること	88	⑩防災活動・災害時の共助等に関すること	268
⑤役場を中心とした防災拠点等に関すること	57	⑪その他	295
⑥支援物資等に関すること	322		

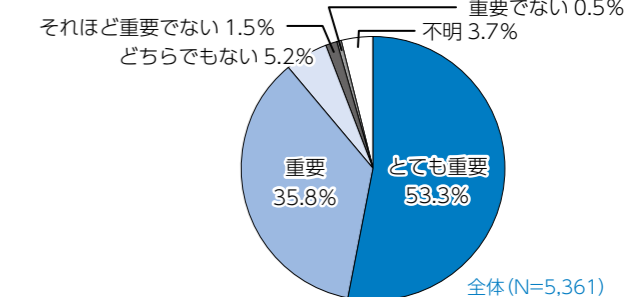
*自由意見は、回答内容を11項目に分類し整理を行った。回答全体の内容件数別で見ると、「災害時の情報・広報等に関すること」が全体の17.9%と最も多く、「支援物資等に関すること」14.7%、「避難所機能等に関すること」13.9%と続く(重複回答あり)。

■熊本地震で多かった屋外での避難や車中泊への対応として、町では、防災公園の整備について検討しています。次の項目について、いずれかを選んで○をつけてください。(※広いスペースを備えた防災公園の整備の重要性)



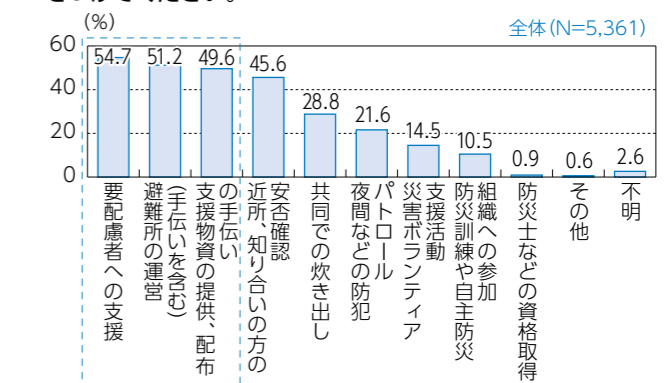
*「とても重要」+「重要」が78.1%と約8割の住民が必要と感じている。

■災害時には、町役場とその周辺が災害復旧活動の拠点となります。次の項目について、いずれかを選んで○をつけてください。(※町役場の防災機能の強化の重要性)



*「とても重要」+「重要」が89.1%と約9割の住民が必要と感じている。

■災害時に、行政区、自治会などの地域コミュニティ単位での助け合い(共助)として重要だと思うものを3つまで選んで○をつけてください。



*「要配慮者への支援」54.7%、「避難所の運営(手伝いを含む)」51.2%、「支援物資の提供・配布の手伝い」49.6%の順で多い(複数回答あり)。